

武藤工業株式会社

☎0125-32-2161 <http://www14.plala.or.jp/mutouco/index.html>



創業	1909年(明治42年) 4月
所在地	幌岡町51番地1
代表者	代表取締役社長 武藤 哲雄
従業員	21名

■ 会社の概要 ■

明治42年に創業者の武藤伊兵衛氏が、平岸にて土木建築請負業の「武藤組」を創業。平成6年に4代目の現社長が就任し、翌年、工場を茂尻から幌岡町に移転し、北海道全域に建具・家具の仕事を中心に、リフォーム等建築工事やオーダーメイドの家具なども造っています。

匠の技を受け継ぎ、打合せ・施工図・製作・取付までを一貫し、木製のあらゆる分野に取り組み、平成20年に全国建具展示会で入賞するなど数々の表彰を受けられています。

KIRARI
sunshine 輝く3社員



能勢 保洋さん

佐藤 京子さん

高田 康平さん

ご注文いただいたお客様のニーズに合わせて、一つひとつを丁寧に仕上げています。

明るく爽やかな事務を心がけています。木製品のことなら何でもお電話ください。

お客様の望むことをしっかりと図面化し、どんどん提案をしていけるよう頑張ります。

木のぬくもりを暮らしに...

伊勢神宮の式年遷宮にも携わった先代から受け継いだ伝統の技は、北海道の厳しい自然の中で育った木々達の個性を最大限に引き出し、時の流れの中で、色や形など存在感あふれる家具・建具として暮らしの中に生き続けます。

新たなものづくりへの発想を取り入れ、熟練した職人技で心を込めて製品をつくりあげ、みなさんの暮らしに木のぬくもりをお届けします。

※式年遷宮～伊勢神宮で20年に1度、お建物全てが新造される大祭。

AKABIRA BRAND



木を知り尽くす匠がつくる逸品

木の風合いを生かしながら、なめらかな曲線を描く、匠ならではの技術を駆使したオリジナルの木製品。

お客様のイメージを家具にします！

木の色や形、大きさ、材料の種類など、自分の好きなように考えたイメージどおりの家具をお造りします。



AKABIRA BRAND

新たなステージへの挑戦！

自社ブランド開発

今までのノウハウを活かし、木のおもちゃや小物木製品などオリジナルの自社ブランドづくりにチャレンジしています！



子ども達に手づくりのおもちゃを...





使った油が
リサイクル
できます！

ごみが資源に変わる!!

ご家庭の中で、使用済みの天ぷら油などは、凝固剤などで固めて捨てたり、布などにしみ込ませて廃棄したりしなければならぬキッチンの厄介者です！

そんな厄介者の使用済み油が、環境にやさしい燃料になる取り組みをご紹介します。

広報あかびら 1月号の中でご紹介しましたフラワーセンターで、いちご栽培を中心とした観光農園を実施する「NPO@北の大地」では、家庭から出る廃食用油を回収し、冬期間におけるハウス暖房用の燃料として活用する予定です。今後は、バイオディーゼル燃料(BDF)も使う計画です。



廃食用油は、
こちらまで！

「NPO@北の大地」では、回収ボックスをフラワーセンター前に設置していますので、各自で運搬願います！

フラワーセンター玄関前に回収ボックスを設置しています！

■回収する油

サラダ油、てんぷら油、コーン油、ひまわり油など一般家庭から出される廃食用油で植物を原料とした食用油。
※廃食用油はできる限り、天ぷらカスなどを取り除いてください。

■回収できない油

動物性油（バター、ラード）、機械油、ドレッシングなど植物性油以外のものが混ざったもの。

■持ち込み方法

必ずふたの付いたペットボトルやプラスチックボトルなどの容器（密閉できるもの）に油を入れて、ふたをしっかりと閉めてから上記の場所の回収ボックスに入れてください。なお、紙パックやふたがないものはこぼれたり、缶・ガラス瓶は破損したりしますので、入れないようお願いします。

環境にやさしい燃料として注目の

BDF

Bio Diesel Fuel
(ビーディーエフ)

菜種油・ひまわり油・大豆油・コーン油などの生物由来の油や、各種廃食用油（てんぷら油など）から作られる軽油代替燃料（ディーゼルエンジン用燃料）の総称です。バイオディーゼルは、従来の軽油に混ぜてディーゼルエンジン用燃料として使用できるため地球温暖化の抑制や天然資源の節約ができ、排気するガスがクリーンな燃料です。

リサイクルのススメ

▼CO₂の削減に！

BDFから出る排気ガスは軽油のものと比べ、二酸化炭素の排出が少なく、黒煙も少ないのが特徴です。また、酸性雨の原因となる硫酸化物の発生も少ないので、地球環境のために有効に使える燃料です。

▼ごみの減量に！

これまで廃食用油は、固めたり、布などに吸わせて燃えるごみとして処理していました。これをリサイクルすることで、焼却するごみの量を減らすことができます。

▼水の環境保全に！

廃食用油 20ml が河川等に流れると、それを浄化するために風呂桶で 20 杯もの水が必要だと言われています。排水として流さずにリサイクルすることで水環境への負荷が軽減します。

▼資源を再利用！

軽油の代わりに BDF を使用することで、貴重なエネルギー資源を再利用することができ、化石燃料の使用量を削減できます。

問合せ先 NPO@北の大地 西 将幸 ☎ 080-3177-6297
回収場所 赤平市フラワーセンター（赤平市字赤平 628 番地）

